

口腔アレルギー症候群

ある特定の果物や生野菜を食べたときに、口の中でかゆみや刺激感が出たことはありませんか？もしかしたらそれは口腔アレルギー症候群かもしれません。

▼口腔アレルギー症候群とは？



口腔アレルギー症候群は、果物や生野菜に含まれているアレルギーを引き起こす原因物質(アレルゲン)が口の中の粘膜に触れて起きるアレルギー反応のことをいいます。

発症：生の果物や野菜、大豆(主に豆乳)などを食べたあと。
原因の食物を食べたあと、15分以内に起こることが多い。
症状：唇や口の中、のど、耳の奥などにかゆみや腫れ、痛みを生じる。

▼花粉症との関係

花粉のアレルゲンと生野菜や果物のアレルゲンは構造が似ているので、花粉症でも口の中に症状が出る場合があります。また、花粉症の方が生野菜や果物を食べたときに口腔アレルギー症候群が発症することがあります。

▽花粉症と関連ある口腔アレルギー症候群原因食材

シラカバ	りんご	もも	さくらんぼ	いちご	大豆(特に豆)	ピーナッツ
イネ科	オレンジ	スイカ	メロン	トマト		
ヨモギ ブタクサ	セロリ	スイカ	メロン			

原因食品を加熱をすると症状が出ない場合もあります。

※シラカバの花粉症がある方は、りんごやももなどで口腔アレルギー症候群が発症する可能性があります。逆にりんごやももで口腔アレルギー症候群が発症する方は、シラカバ花粉症を発症する可能性があることを表しています。

今まで食べていても大丈夫だったものでも、ある日突然症状が出る場合があります。気になる場合は受診することをオススメします。

今月の手話

～第21回目～

このコーナーでは毎月、日常で使える簡単な手話をご紹介します。

今月は町民課の石丸卓弥です。



「冬(A)・雪(B)」

Aは「寒い」という意味もあります。気温や季節を表すときに使ってみましょう。

A



B

